

医薬品等安全性情報

No. 149

ダイジェスト

平成10年（1998年）8月

[厚生省医薬安全局]

医薬品等安全性情報No.149が発行されました。その概要は以下のとおりです。詳細は次の雑誌に掲載されますので、関連症例等についてはこれらをご参照下さい。

日本医師会雑誌（9月15日号）（①、②、③のみ）

臨床と薬物治療（10月号）

日本薬剤師会雑誌（10月号）

月刊薬事（10月号）

日本病院薬剤師会雑誌（10月号）

診療と新薬（8月号）

NTTのファクシミリ通信網サービス「Fネット」を通じ、最近1年間の「医薬品副作用情報」「医薬品等安全性情報」がお手元のファクシミリから随時入手できます（利用者負担）。すでに、Fネットに加入されている方は、次の操作番号で目次を引き出して下さい。162# 284 03 3508 4364 01#（Fネットへの加入等についての問い合わせ先は☎0120-161-011）

また、パソコン通信「MEDINET-P」を通じ日本薬剤師会より①、②が提供されています。なおこの情報は他の医療情報用パソコン通信でも入手可能です。（日本薬剤師会中央薬事情報センター：☎03-3406-9140）

なお、厚生省ホームページ（<http://www.mhw.go.jp>）からも入手可能です。

1 ■ プロトンポンプ阻害薬による中毒性表皮壊死症と皮膚粘膜眼症候群

該当商品名：オメプラール錠他

プロトンポンプ阻害薬との因果関係が否定できない中毒性表皮壊死症、皮膚粘膜眼症候群が国内でそれぞれ3例、2例報告された。また海外においても、それぞれ9例、11例報告されていることから、今般、「使用上の注意」の改訂を行い、注意喚起することとした。

2 ベラプロストナトリウムによる間質性肺炎

該当商品名：ドルナー錠20 μ g他

ベラプロストナトリウムを投与した患者において、間質性肺炎が3例（副作用名「胸部X線異常影」1例を含む）発現し、1例が死亡していることから、「重大な副作用」に「間質性肺炎」の項を追記し、注意喚起を行った。

3 クエン酸シルデナフィル（バイアグラ）と硝酸薬の併用による重篤な副作用について

該当商品名：バイアグラ

クエン酸シルデナフィルは、米国等において「バイアグラ」の商品名で販売されている勃起障害治療薬であり、米国では硝酸薬との併用による死亡症例が多数報告されたため、両剤の相互作用に関する注意喚起を行っている。また、国内において、本剤は未承認の医薬品であるが個人輸入等により持ち込まれているといわれており、硝酸薬を併用した患者の死亡が報告されたことから、本剤と硝酸薬との併用による重篤な副作用に関して情報提供を行うこととした。

4 使用上の注意の改訂について（その109）

次の医薬品について「使用上の注意」の改訂内容等を記載している。

ランソプラゾール、ベラプロストナトリウム、亜酸化窒素、ペントゾシン（注射剤）、メシル酸ジヒドロエルゴタミン、酒石酸エルゴタミン・無水カフェイン、酒石酸エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ペモリン、臭化ジスチグミン（経口剤）、塩酸セフメノキシム（耳鼻科用剤）、塩酸イミダプリル、塩酸ミドドリン、シメチジン（注射剤）、シメチジン（経口剤）、ダカルバジン、リファンピシン、注射用乾燥インターフェロン- β 、ガドテリドール